



木曽林務課だより

11月

穏やかな秋晴れの木曽。大桑村の殿地区で炭づくりの技術を伝える講習会が開催されましたので紹介します。

炭焼き技術の伝承を目的に「木曽の炭焼き講習会」が開催されました ～消えかける技を後世に！～



木曽製炭振興協議会では、様々な効果を持つ「炭」を焼く技術を後世に伝承していきたいと、毎年、秋に「炭焼き講習会」を開催しています。今回は、11月15日（土）にドラム缶等で製作した簡易炭窯（すみがま）を使って講習会が開催されました。

講習会では、炭窯の構造や窯内の熱の流れなどを、89才の半場協議会長が経験に基づき精力的に説明するとともに、参加者の皆さんで、窯の中へ炭になる竹材の詰込みを行いました。



窯の仕組みを伝える半場会長

いっぱい竹材を詰めた窯に蓋をして、焚口から火を焚いて熱を送ります。



炭材を詰める参加者



一杯に竹材を詰めた窯



煙が出始めた窯

本来は、煙の変化を見ながら窯を密閉して火を消してから炭を出しますが、今回は事前に焼いてあった窯から参加者が炭を出す体験を行いました。

講師から参加者に対して熱心に説明が行われ、ある程度炭焼きの内容をご理解いただけたのではないかと思います。

炭を出す参加者



竹炭



今回のお楽しみの
簡単な燻製づくり

木曽製炭振興協議会では、楽しみも交えながらこうした講習会を地道に繰り返す行うことで、地域の炭焼き技術の伝承や、里山の整備につながっていくことを期待しています。

